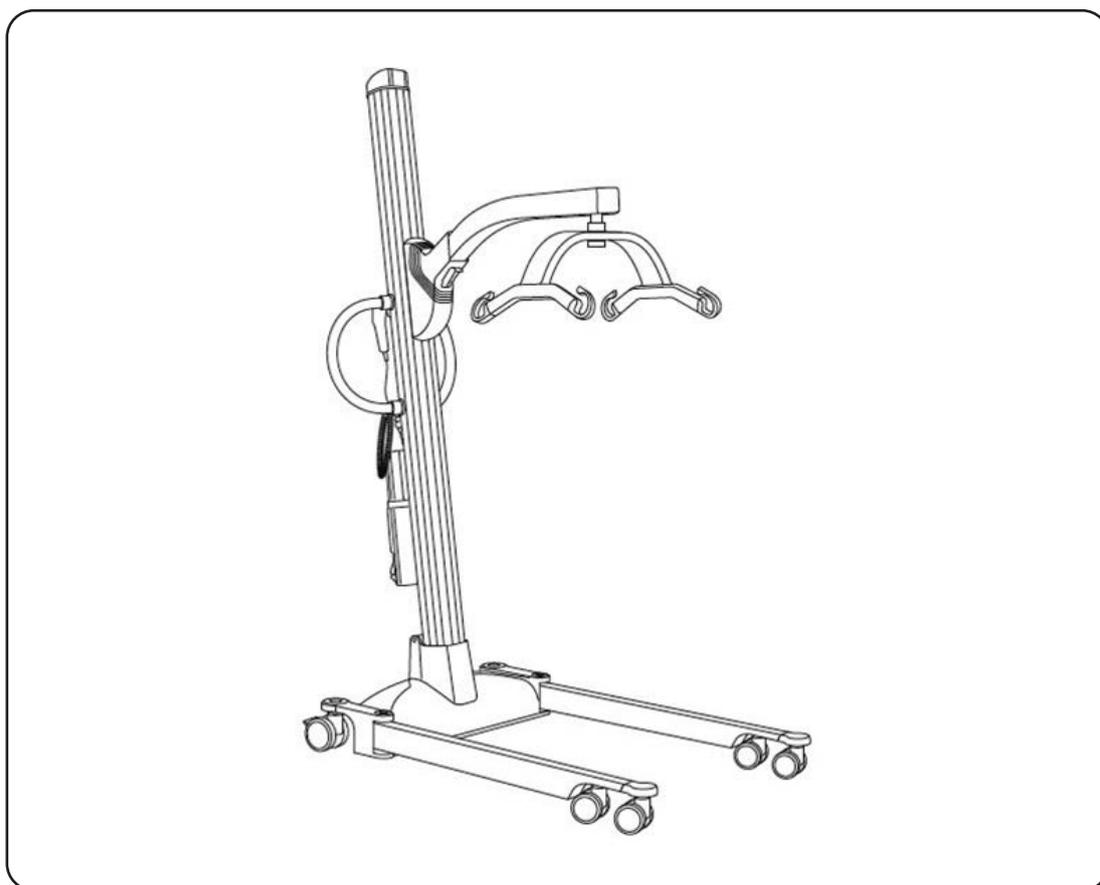


molift[®]
a part of Etac

モーリフト パートナー255

取扱説明書



この度は、「モーリフト パートナー255」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本製品の機能を生かし、かつ安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよく読み、内容を理解してください。その後、大切に保管し、必要に応じてくりかえしお読みください。

※取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などにより予告なく変更する場合があります。
※必ずご購入された製品に梱包されている取扱説明書でご確認ください。

k パシフィックサプライ株式会社

※Kマークは川村義肢株式会社の登録商標です。
※製品に関するお問い合わせは本取扱説明書最終ページをご参照ください。

転載複写厳禁

モーリフト パートナー 255 の特徴

モーリフト パートナー255は介助者の負担を軽減し、ご利用者の快適な移乗をお手伝いする床走行式リフトです。

ベッド・車椅子間の移乗や床からの移乗にお使いいただけます。

また、歩行用スリングを用いて、ご利用者の歩行訓練を行うこともできます。

- 安定性に優れた垂直昇降式のリフト
- 255kgまで可能な高い耐荷重
- 充実した安全機能で安心してお使いいただけます
- 4点ハンガーにより、昇降時のゆれが少なく快適です

※スリングは別売です。この取扱説明書では、モーリフト社製「イージースリング」を用いてリフトの操作方法を説明しています。

もくじ

1. 安全にご使用いただくための注意事項	3
2. 各部の名称と説明	6
リフト本体について	6
2-1.付属品について	7
2-2.支柱上部	7
2-3.コントローラー	7
2-4.バッテリーホルダー部	7
3. 仕様	8
4. 組立方法	9
5. リフトの使用方法	10
5-1.日常点検	11
5-2.コントローラー	11
5-3.安全のための機能	11
5-4.緊急時の降下方法	11
5-5.移乗	12
5-6.歩行補助具として使用する	13
5-7.サポートアームの格納	14
6. サービスランプ	15
7. バッテリーについて	15
7-1.バッテリーの取扱い	15
7-2.充電方法	15
8. 保守・点検	16
8-1.お手入れ方法	16
8-2.保管上のご注意	16
8-3.点検	16
8-4.廃棄方法	16
9. 故障かな？と思ったら	17
10. アフターサービス	17
保証書	18

1. 安全にご使用いただくための注意事項

ここに記した注意事項は、本製品を安全に正しくご使用いただき、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですのでよくお読みいただき、正しくお使いください。

リフトをお使いいただく前に

- この取扱説明書の「8.保守・点検」の項目および内容を必ず守り、リフト本体およびリフト関連製品（スリング等）の安全を確認してください。
- 対象者にリフトを使用する前に、介助者は他の人にリフトを使用し、リフトの操作を十分に練習してください。また、介助者はリフトに吊られる体験をしてください。どのように吊られるかを知ることは大切です。ご使用になるスリング全てを使って練習や体験をしてください。

絵表示について

この取扱説明書では様々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上本文をお読みください。

<注意事項> 誤った取扱いによって生じることが想定される内容を、危害や損害の程度に応じて「警告」と「注意」の2つに区分し、説明しています。必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
---	--

 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。
---	---

<ポイント> この表示は、操作にあたって重要な内容や効果的な使用方法を示しています。

 i	この表示は、操作にあたって重要な内容や効果的な使用方法を示しています。
--	-------------------------------------

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

※レンタルなどで本製品を貸し出す場合には、この取扱説明書も一緒に貸し出してください。

また、説明書をよく読んでから使用するよう指導してください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- リフトを使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、内容を理解してください。内容を理解し、実行できない方には操作させないでください。
- リフトの導入に関しては、医師やPT（理学療法士）、OT（作業療法士）などにご相談ください。対象者の身体状況によっては、リフトの使用により症状が悪化する恐れがあります。対象者の症状、身体機能および介助者の機器への適応能力などをご相談ください。
- 操作は必ず介助者が行ってください。また介助者は対象者を懸垂している間はそばを離れないようにしてください。
- 子供のいたずらに注意してください。子供には触らせないようにし、思わぬいたずらに注意してください。
- 本製品の耐荷重は255kgです。255kgを超える荷重はかけないでください。
ただしスリングの耐荷重が255kg以下の場合、スリングの耐荷重を限度としてください。
- 安全のために、ご使用前に必ずリフトと付属品の点検を行ってください。（8.「保守・点検」参照）何か異常を発見した場合には、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
- 次のような症状が発生したら、バッテリーをただちに取り外してください。
 - ・電気装置やケーブル、または電気絶縁部の破損
 - ・安全装置の破損、欠陥
- 製品の分解、改造やお客様による修理はしないでください。発火、感電、事故、けがの原因になる恐れがあります。故障の際にはお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。
- 充電器のコードは、傷つけたり重たいものを載せたり無理に曲げたりしないでください。コードを傷め、火災や感電の原因になります。
- リフト本体や充電器に水などの液体をかけたり、ぬれた手で操作しないでください。リフトは防沫仕様ですが、常時水を使用する場所や湿気の著しい場所で使用、保管しないでください。故障や感電の原因となります。
- 浴室内で充電しないでください。感電する恐れがあります。
- リフトは操作ハンドルを持ち、押すもしくは引いて移動させてください。懸垂中の対象者やアーム、支柱を持って移動させないでください。
- 傾斜地での移動、昇降や段差の乗り越えは行わないでください。傾斜している場所やカーペット上での移動、敷居の乗り越えなどを行おうとするとリフトが転倒し、けがにつながる恐れがあります。
- リフトを使用する前に、支柱が適切に固定されているかご確認ください。
- 他社製のスリングを使用して発生した故障や事故については、弊社は一切の責任を負わないものとします。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用中に不具合を生じ、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- リフトで懸垂する際は、スリングの4つのストラップがリフトのフックにかかっていることをご確認ください。4つのストラップ全てが確実にフックにかかっていないと、対象者がスリングから転落し、けがをする恐れがあります。
- スリングの取扱いについては、ご使用になるスリングに添付されている取扱説明書をよくお読みください。スリングの使用前後にはストラップや本体に擦り切れや裂け目、縫い目のほつれなどがないか点検してください。何か異常を発見した場合にはただちに使用を中止してください。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 人以外のものを吊らないでください。故障・事故の原因となります。
- リフトは室内温度5℃から40℃の条件でお使いください。車で運搬する際には車内が40℃以上になる場合もありますのでご注意ください。お使いになる場合には室内温度になるまでお待ちください。
- アームや支柱をたたむ際には脚、腕、手などを挟まないようにお気をつけください。
- 充電が必要になったらすみやかに使用を中止し、バッテリーを充電してください。使用中にバッテリーが切れた時のために、バッテリーを2個持つことをお勧めいたします。
- バッテリーを充電する際には、必ず専用の充電器をご使用ください。誤った充電器をご使用になるとオーバーヒートし、パワーパックを破損する恐れがあります。
- 対象者が安心して快適に移乗できるよう、声かけをしながら対象者の様子に注意して作業してください。対象者がずり落ちそうになったり、痛みや不安を訴えたりする時にはリフトの使用を中止してください。
- モーリフト パートナー 255にはモーリフト社製スリングの使用を推奨します。モーリフト社製スリングは、4点ハンガー・2点ハンガーの両方に適合する仕様になっています。その他のスリングは仕様が異なっていますので、不適合により懸垂時に不安定になったり、けがや事故につながる恐れがあります。
- リフトを移動させる際には、対象者の手足がリフトやベッド、車椅子などにぶつからないよう十分にご注意ください。
- 対象者を懸垂した状態でリフトを移動させる際には、ベッドから車椅子へ移乗する際の方向転換など、ごく短い距離の移動のみに使用してください。車椅子などのように部屋から部屋へ移動する為には使用しないでください。
- 対象者を懸垂した状態でリフトを移動させる際には、対象者をなるべく低くした状態で移動してください。重心が低くなり、安定性が増します。可能であれば、対象者がリフトの支柱の方を向くようにし、対象者の足底をリフトの胴体部分に置いてください。またリフトの脚部を開くとより高い安定性が得られます。
- リフトを使用しない時には、平らで安全なところへ置いてください。直射日光のあたる場所や暖房器具の近く等、高温になる場所に置かないでください。

2. 各部の名称と説明

●リフト本体について

アーム

アーム圧迫防止機能を備えています。万が一「アーム」と「ハンガー」が下がりにすぎた対象者に接触した場合、それ以上は下方への力を発生せず、対象者を圧迫することを防ぎます。

ハンガー

4点ハンガーにより対象者を快適に昇降します。ハンガーは360°自由に回転し、任意の位置でご使用いただけます。

フック

スリングのストラップを掛けるためのフックです。

サポートアーム

前輪キャスター

4輪あります。

脚部

脚部は電動で開閉することができます。

後輪キャスター

2輪あり、ブレーキが装備されています。レバーを踏んでブレーキをロックします。レバーを上げるとロックを解除します。リフトを使用する時はロックをかけないでください。

手動降下ネジ

支柱

コントローラー

操作ハンドル

リフトを移動させる際に持ち、押すもしくは引いて移動させてください。

バッテリー

バッテリーホルダー

上方からバッテリーを差し入れてください。バッテリーがバッテリーホルダーに入っている間中、電源が入っています。バッテリーホルダーの外側に「緊急停止ボタン」、「充電ランプ」、「緊急降下スイッチ」がついています。

緊急降下スイッチ

緊急停止ボタン

胴体

リフトの胴体部分です。

2. 各部の名称と説明

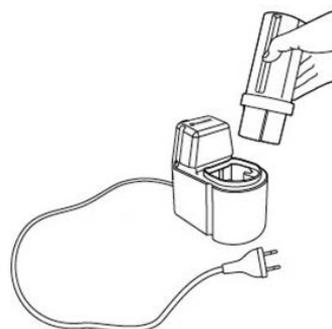
2-1. 付属品について

バッテリー

リフトのバッテリーホルダー、充電器には白色の▽マークが下向きになる方向に入れてください。

充電器

急速充電器です。LEDランプで充電中の状態をお知らせします。



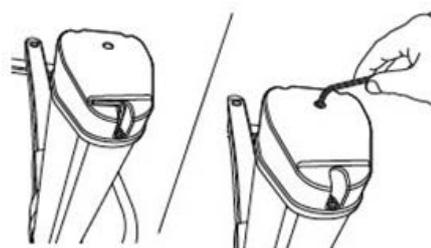
2-2. 支柱上部

手動降下ネジ(ウォームネジ)

手動でアームを下降できるように、支柱の上部に六角レンチがあります。支柱上部の穴に六角レンチを入れ、利用者が下がるまで回します。下げたらすぐに六角レンチを穴から抜いてください。

工具(六角レンチ)

手動降下ネジに使います。

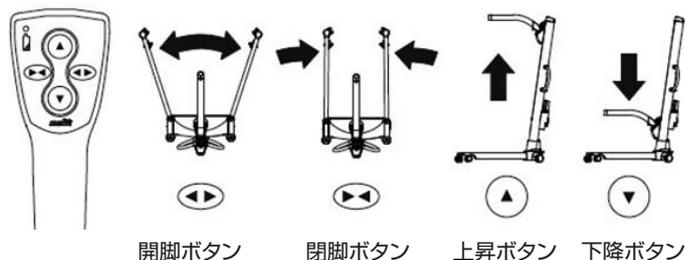


2-3. コントローラー

アームの昇降と脚部の開閉を行うボタンがあります。

充電ランプ

バッテリーの電圧が低下した事を知らせます。点灯したらバッテリーを充電してください。



2-4. バッテリーホルダー部

緊急降下スイッチ

このボタンを押し続けると、アームが下がります。緊急停止機能が作動している場合、本機能は作動しませんので、緊急停止ボタンはオフ(ボタンが飛び出ている)にしてください。

充電ランプ(電池の記号)

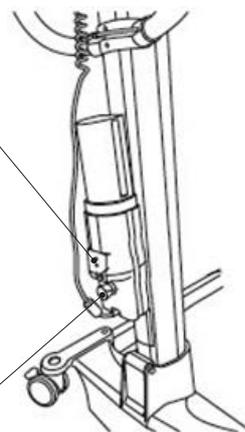
バッテリーの電圧が低下した事を知らせます。点灯したらバッテリーを充電してください。

サービ斯拉ンプ(工具の記号)

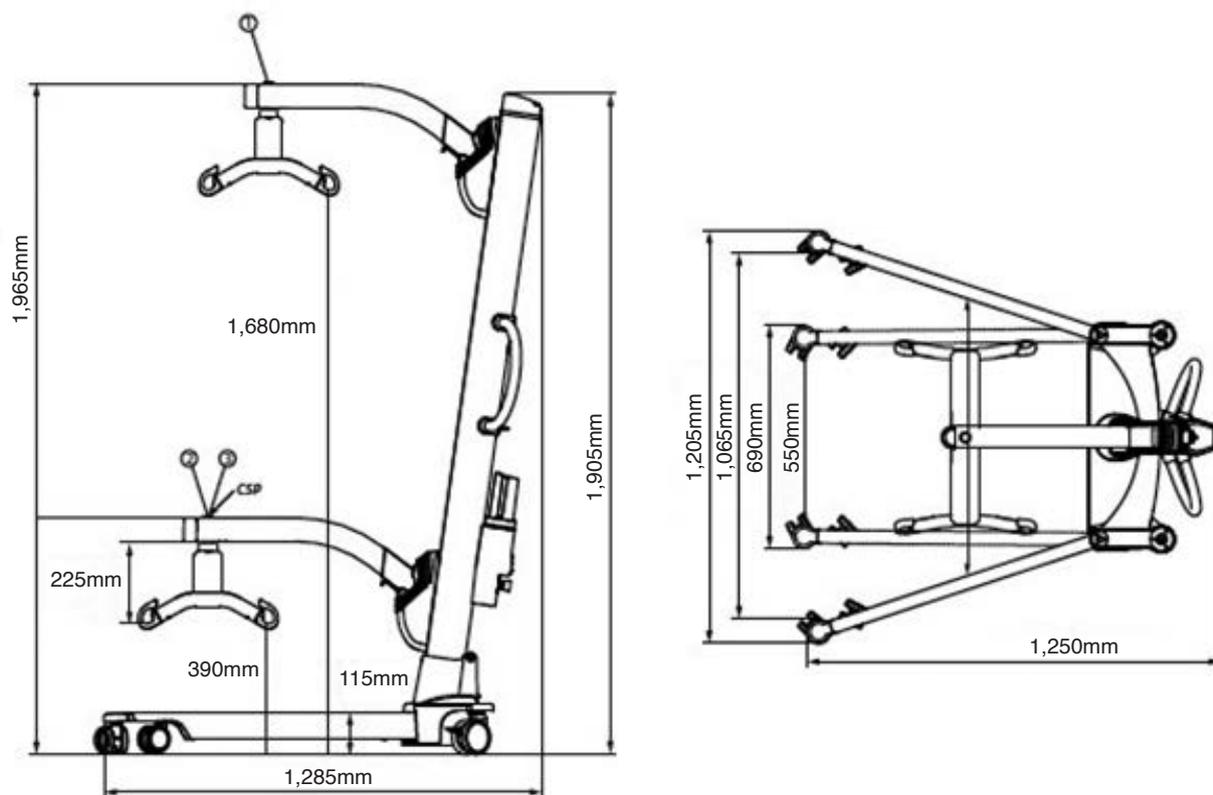
リフトの状態を知らせます。

緊急停止ボタン

緊急時にリフトの電源を切り、停止させるボタンです。リフト操作中にボタンを押すと動作が停止します。緊急停止を解除する際は、ボタンが飛び出すまで時計回りに回します。



3.仕様



重量	38.3kg(サポートアーム、バッテリー、ハンガーを除く)
	48.9kg(サポートアーム、バッテリー、ハンガーを含む)
材質	アルミニウム、プラスチック
支柱昇降用モーター	DC24V
脚部開閉用モーター	DC12V
バッテリー	モーリフト大型バッテリー NiMh(ニッケル水素電池)26,4 V-2,6 Ah
	満充電時のリフト回数、40~50回(75kg、50cm上下)
耐荷重	255kg
リフト昇降幅	1,290mm
脚部の高さ	115mm
脚部閉脚時の寸法	長さ1,285×幅690×高さ1,905mm

※リフトの耐用期間は30,000回または10年です。

※耐用期間：当該機器の標準的な使用状況と標準的な保守状況の中で、交換部品、捕用品等を交換したり、修理・オーバーホールを繰り返したりしても、その機器の信頼性・安全性が目標値を維持できなくなると予想される耐用寿命。

※耐用寿命：物理的、経済的、医療技術的、企業戦略的な種々の条件によって、結果として当該機器が使用できなくなる期間。

4. 組み立て方法

① バッテリーを充電します

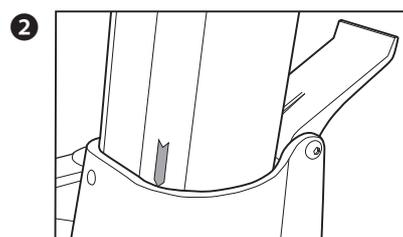
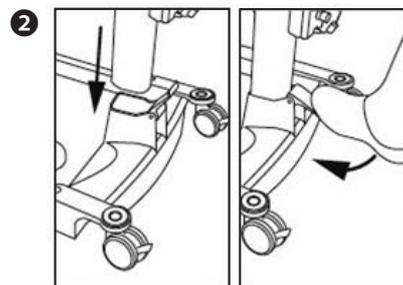
組み立て中はバッテリーをバッテリーホルダーにセットしないでください。

② 支柱を胴体に差し込みます

支柱を胴体側ブラケットに差し込みます。

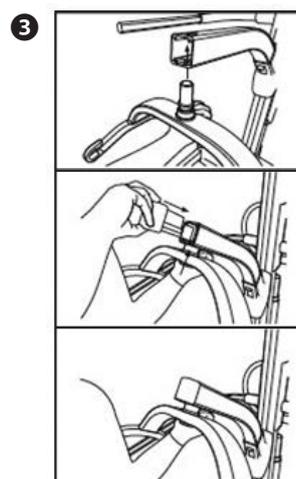
支柱の下部にある赤い矢印がブラケット上端に接している事を確認してください。矢印まで支柱を差し込めない際には、一度支柱を抜いて、ブラケット内の歯車と支柱側の歯車がかみ合うように、歯車を少し回してください。無理に支柱を押し込まないでください。

支柱が正しい位置に入った後、背面のロックハンドルを完全に押し下げて、支柱を固定します。



③ ハンガーの取り付け

1. プラスチックカップを引き、アームから外します。
2. ハンガーのボルトを押し上げ、アームに通します。
3. ボルトの向きをプラスチックカップが通るように合わせ、ハンガーのボルトを強く押ししながら、プラスチックカップを元の位置まで押し込みます。
4. ハンガーが正しく固定されていることを確認してください。
※プラスチックカップの取り外しは非常に力が必要です。
※プラスチックカップ内側の溝とアーム内側の溝及びハンガーのボルトの向きを全て合わせないと固定できません。
ボルトの向きを合わせつつボルトを強く押し込んでからプラスチックカップをアームへ押し込んでください。

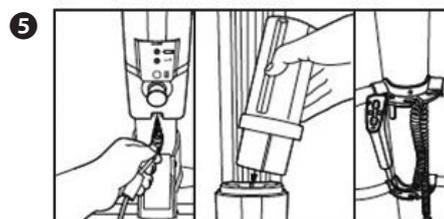


④ アームの取り付け

1. アーム側金具部を支柱側受け部分に差し込むように、プラスチックのロック部分がはまる迄押し込みます。
2. アーム根元のゴムカバーの上下左右を支柱側へ被せます。

⑤ バッテリーとコントローラー

1. コントローラーをバッテリーホルダーの下部に接続します。
2. 端子を下にしてバッテリーを挿入します。
3. コントローラーのケーブルを操作ハンドル手元に固定して、落とすときに床に落ちないようにします。



組み立て後のチェックリスト

このチェックリストを使用して、使用前にスマート255が適切に設置され、正しく安全に操作できることを確認してください。

- アーム、支柱、ハンガーが適切に固定され、リフト各部に緩みがない。
- バッテリーが充電されている（バッテリーランプが点灯していない）。
- リフトに明らかな損傷やその他の欠陥がない
- 負荷をかけて1回持ち上げる（60～80kg）

5. リフトの使用法



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用中に不具合を生じ、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ご利用者、障害の種類、体格、体重、移乗の種類に合わせて調整されたスリング（ベスト）と付属品のみを使用してください。
- 2分以上（最大負荷で）連続し昇降しないでください。
- 最大荷重：Safe Working Load (SWL) がリフト、ハンガー、スリング（ベスト）によって異なる場合は、常に最小の最大荷重を適用してください。
- 人を持ち上げるためにのみ使用してください。リフトを使用して、いかなる種類の物体を持ち上げたり移動したりしないでください。

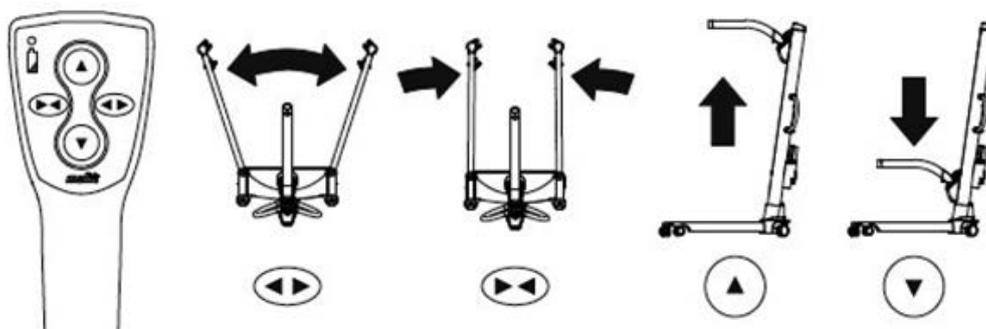
5-1. 日常点検

使用前に実施する項目:

- リフトに目に見える損傷、欠陥、または変形がない。
 - ハンガーとすべての取り外し可能な部品が正しく接続され、固定されている。
 - 緊急停止ボタンと緊急降下スイッチは正しく作動する。
 - 充電ランプが点灯しておらず、サービスライトが緑色である。
 - スリングに目に見える損傷やほつれがない。
 - 車輪が自由に回転し、リフトが操作しやすい。
 - リフトの作動を試運転して、リフトから異音がしない。
- 故障や欠陥がある場合は、リフトの運転を中止し、「故障中」として使用しない。

5-2. コントローラー

コントローラーには、アームの上下と、脚部の開閉の4個のボタンがあります。
左上の充電ランプはバッテリー残量が少なくなると点灯します。
点灯したらバッテリーを充電してください。



5-3. 安全のための機能

パートナー255には複数の安全装置が装備されており、誤った取り扱いによるけがやリフト本体の破損、故障を防ぎます。

- ・重量オーバーセンサー

アームにかかる負荷が最大荷重(255kg)を超えるとリフトが停止します。アームは、アームとハンガーが使用者を圧迫しないようにヒンジで固定され、接触した際に動いて衝撃を緩和します。

- ・緊急停止機能

非常停止は、緊急停止ボタン(赤色)を押し込むと電源が切れます。

ボタンが飛び出すまで時計回りに回すと緊急停止機能が解除されます。

5-4. 緊急時の降下方法

- ・緊急降下機能(緊急降下スイッチ)

このボタンを押し続けると、電動で非常停止し、アームが下がります。緊急停止機能が作動している場合、本機能は作動しませんので、緊急停止ボタンはオフ(ボタンが飛び出ている)にしてください。

- ・手動降下機能

手動でアームを下降できるように、支柱の上部に六角レンチがあります。

支柱上部の穴に六角レンチを入れ、利用者が下がるまで回します。

- ・異常高温停止機能

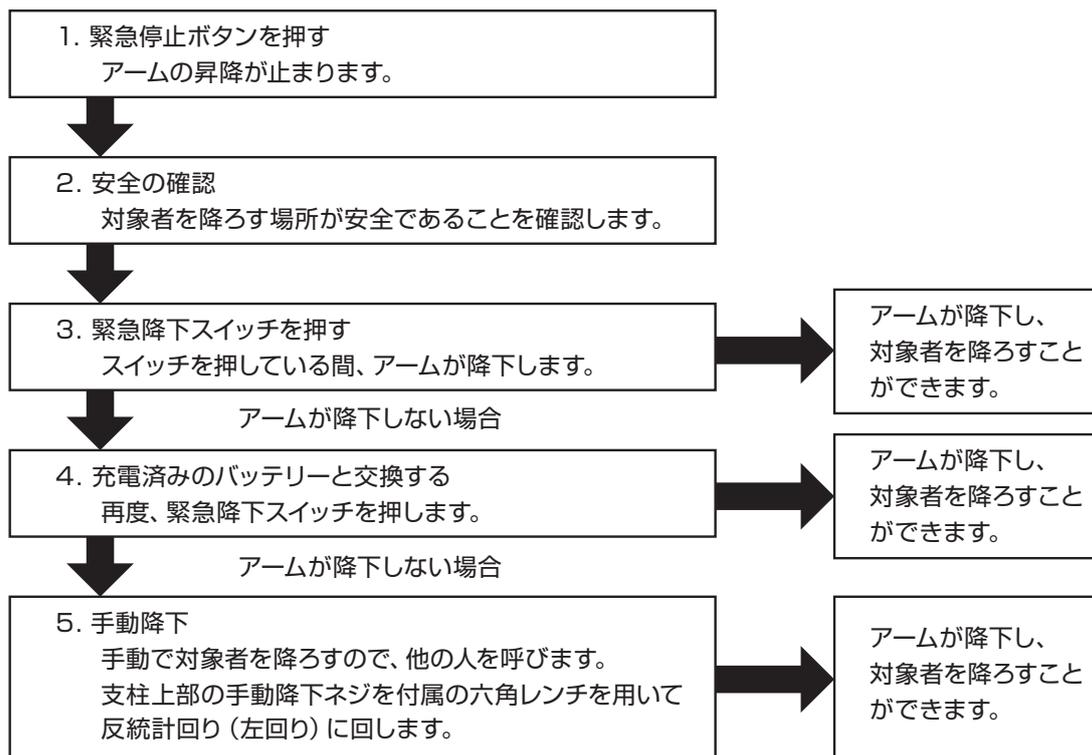
リフトの電子回路は異常高温になると停止します。

室内温度5℃から40℃の条件でご使用ください。

過熱すると、リフトが使えなくなります。

リフトが冷えるまで待ってから、再度使用してください。

コントローラーが効かない等の緊急時には…



5-5. 移乗

吊り上げ作業ができる限り安全かつ円滑に行われるように、事前に計画を立ててください。
人間工学的に作業することを忘れないでください。リスクを評価し、メモを取ります。支援者は、対象者の安全に責任を負います。4点式スリングバーと組み合わせて、座位・仰臥位からの移乗、歩行などさまざまなタイプの移動に使用することができます。

●スリングの使用

- ・スリングは、個々の対象者と意図した吊り上げ状況でテストされていることが重要です。
- ・使用前にスリングの取扱説明書をお読みください。
- ・損傷したスリングやひどく摩耗したスリングは使用しないでください。
- ・モーリフト製スリングのみを使用することをお勧めします。他社製のスリングを使用して発生した故障や事故については、弊社は一切の責任を負わないものとします。

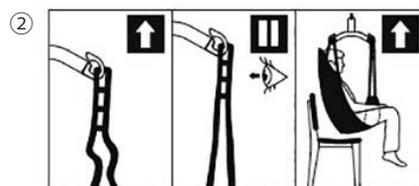
●アームの昇降

- ・対象者を動かすときは、支援者はその人の横に立ってください。
- ・腕や脚がシートやベッドなどの邪魔にならないように注意してください。
対象者が安心できるようにアイコンタクトをとってください。

- ①スリングが対象者の周りに正しく取り付けられていること、およびストラップがハンガーのフックに正しく取り付けられていることを確認します。



- ②対象者を持ち上げずストラップを伸ばします。対象者が滑ったり落下したりしないように、スリングの4つのループすべてがしっかりと固定されていることを確認してください。



- ③対象者を持ち上げて、希望する場所へ移動します。使用者が吊り下げられた状態でリフトを移動する場合は、使用者の位置をできるだけ低くするようにしてください（リフトの脚部か胴体に足を乗せる位）。このようにすると、重心が低くなり、不安定になるリスクが軽減されます。



⚠️ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用中に不具合を生じ、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 持ち上げるのに必要以上に対象者を持ち上げないでください。リフトの車輪はロックしないでください。持ち上げたまま、決して対象者を放置しないでください。
- 移動中は注意してください。停止中の対象者は、旋回、停止、および進行中に揺れる可能性があります。吊り下げられた対象者が周囲の物体と衝突しないように注意してください。
- リフトは、傾斜面で対象者を持ち上げたり移動したりするために使用しないでください。
- 毛足の深いカーペット、敷居の高い場所、でこぼこした表面、またはキャスターを塞ぐ可能性のあるその他の障害物は避けてください。このような障害物を無理に乗り越えると、リフトが不安定になり、転倒の危険性が高まります。



●座位への移乗

対象者を座位に移すときは、次のテクニックを使用して、対象者をできるだけシートの奥まで下げて座らせることができます。

- ① 操作ハンドルを使用して対象者の位置を決める
- ② 対象者の膝を前から軽く押す
- ③ シートを後方に傾ける

椅子から上げたり下げたりするときは、対象者がリフトに面している必要があります。

〈悪い例〉



〈良い例〉



5-6. 歩行補助具として使用する

●サポートアーム

パートナー255 は、高さの調整が可能なサポートアームを備えています。アンビュレーティングベスト（別売）と組み合わせることで、歩行訓練に使用できます。

※サポートアームは、対象者の歩行を補助するためのものであり、対象者の総重量を支えるためのものではありません。

※サポートアームなしでリフトを通常どおり使用することもできます。

※対象者の持ち上げと移動には、常にある程度リスクが伴います。

リフトの取扱説明書をよく読んでください。

機器を理解し、熟知していることが重要であり、訓練を受けた支援者が使用してください。

支援者は対象者の安全に責任があるため、リフトとその付属品を使用する際は十分に注意してください。

●使用手順

※使用前

- ・アンビュレーティングベストを対象者に装着します。
- ・サポートアームを設置した状態で対象者の前に設置します。
アンビュレーティングベストのストラップをリフトのハンガーに取り付けます。
- ・サポートアームが対象者を支持するのに適切な高さ（座っているときの胸の高さ）になるように高さを調整します。
- ・対象者の体が起きている間にリフトのアームを上げます。
対象者がリフトに衝突しないようにしてください。
- ・アンビュレーティングベストは、対象者を支持し、対象者が落下するのを防ぎます。
対象者は快適に歩けるはずです。
リフトがスリングのストラップを締めすぎしていない（上げすぎしていない）ことを確認してください。



※使用后

- ・リフトのアームを下げて対象者が着席した後に、アンビュレーティングベストのストラップをリフトのハンガーから外します。
- ・リフトを対象者から離し、アンビュレーティングベストを取り外します。

5-7. サポートアームの収納

サポートアームが不要な場合、または持ち上げる際に邪魔になる場合は、右の図に示すように収納できます。

- ・サポートアームは、各アームを上下に回すことで簡単に収納できます。
- ・サポートアームは、アームを後方に向けると、介護者が延長操作ハンドルとして使用することもできます。
- ・操作ハンドルを快適な作業位置に調整することも可能です。
- ・使用中にブラケットが滑らないように、ロックハンドルがしっかりと締められていることを確認してください。



6. サービスランプ

リフトの状態を知らせます。
リフトは持ち上げた荷重と持ち上げた回数を記録してます。
一定の期間（約 10,000 回）ご使用後、サービスランプの LED 色が使用回数に応じて変化します。
黄色が点灯したら、速やかに販売店へご連絡の上、点検をご依頼ください。

サービスランプの色	状態
消灯	節電（スタンバイ）
緑色	使用可能
黄色	リフトは作動しますが、メンテナンスを依頼してください。
赤色	メンテナンスを依頼してください。
赤色/音 (断続的なピー音)	至急にメンテナンスを依頼してください。

7. バッテリーについて

7-1. バッテリーの取り扱い

パートナー 255 には、モーター大型バッテリーが搭載されています。
バッテリーは約 500 回の充電が平均寿命の目安です。

【必須】バッテリーの故障を防ぐため、バッテリーは購入時に充電し、その後は 6 か月ごとに再充電してください。

【推奨】バッテリーは満充電と完全放電を数回繰り返すと、フル容量に達します。
リフトを長期間（3 ～ 4 週間）使用していない場合も、この手順に従ってください。

充電ランプ

バッテリー残量が少なくなり、リフトの充電が必要になると、点灯し、音が鳴ります。
この時リフトは、最大荷重で1回の完全な持ち上げサイクルに十分な電力が残っています。
バッテリー残量が非常に少ない場合、アームを下げることはできません。

7-2. 充電方法

バッテリー充電器は、卓上充電器として使用するか、壁面に取り付けることができます。
充電器は、主電源ケーブルのプラグを簡単に外せるように設置してください。
ケーブルを傷つけないように注意してください。

充電器ランプの色	状態
黄色	バッテリーなし・使用可能
黄色	初期化（10秒間）
赤色	急速充電
緑色/黄色（点滅）	トップオフ充電
緑色	トリクル充電
赤色/緑色（点滅）	エラー

※トップオフ充電、トリクル充電はバッテリーを最適化するための充電状態の事です。

8. 保守・点検

8-1. お手入れ方法



シンナー、ベンジン、研磨剤等はリフトの表面を傷つける可能性がありますので、使用しないでください。
また溶剤を直接リフトにかけないでください。

- ・リフト本体やコントローラー等が汚れたときは柔らかい布で拭いてください。
- ・汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤に浸した布をかたく絞って拭いてから乾いた布で拭きとってください。
- ・消毒をされる場合にはイソプロピルアルコールをご使用ください。

8-2. 保管上のご注意

- ・長期間保管する場合は、非常停止ボタンを有効にしてください。(押し込む)
リフトは、-25 ~ 70 °Cの温度下で保管および輸送できます。
- ・リフトは、標準室温 (+5 ~ +40°C) で使用するように設計されています。
大気圧：70 ~ 106kPa 湿度：15 - 93 %
- ・他の温度で保管または輸送した後は、安全な動作温度に達するまで、
リフトを適切な温度の部屋に置いてください。

8-3. 点検

頻度	点検項目	点検内容
毎日	バッテリー	充電ランプが赤色に点灯し、正しく充電されているか確認してください。
毎日	スリング	スリングに破れ、縫い目のほつれ等がないかを確認してください。
毎日	各部の接続	ハンガーとすべての取り外し可能な部品が正しく接続され、固定されている。
毎日	緊急停止	緊急停止ボタンと緊急降下スイッチは正しく作動する。
随時/月1回	リフトの汚れ	操作ハンドルやコントローラー等の汚れを拭き取ってください。
月1回	車輪の動き	車輪が自由に回転し、リフトが操作しやすい。 キャスターから髪の毛やごみを取り除き、動きが正常か確認してください。
月1回	アームの動き	リフトの作動を試運転して、リフトから異音がしない。 故障や欠陥がある場合は、リフトの運転を中止し、「故障中」として使用しない。

8-4. 廃棄方法

- ・使用済みのバッテリーは、地域の規則や規制に従って特別廃棄物として廃棄してください。一般廃棄物として廃棄しないでください。
- ・他の部分を廃棄される場合には、各自治体の規則に従ってください。

9. 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

		参照ページ
支柱がぐらつく	支柱が胴体にきちんと入っていない、または支柱固定用ロックハンドルが緩んでいる可能性があります。 ⇒支柱をしっかり胴体に挿入し、支柱固定用ロックハンドルをしっかりと締めてください。	9
アームが動かない	バッテリーを入れ忘れている可能性があります。 ⇒バッテリーホルダーにバッテリーを入れてください。	7
	バッテリーが切れている可能性があります。 ⇒コントローラーの充電ランプがオレンジ色に点灯していたら充電済のバッテリーと交換するか、充電してください。	7
	緊急停止ボタンがオンになっている可能性があります。 ⇒緊急停止ボタンを時計回りに回して、緊急停止を解除してください。	7
	コントローラーのコネクターが外れている可能性があります。 ⇒コネクターを差し込んでください。	7
	過荷重の恐れがあります。 ⇒モーフット パートナー255の耐荷重は255kgです。	8
アームが下降しない	ハンガーが何かに当たってアーム圧迫防止機能が働いている可能性があります。 ⇒ハンガーが対象者に当たっていればアームを上昇させてください。 ハンガーの下に障害物があれば除去してください。	11
リフトの移動ができない	後輪キャスターがロックされている可能性があります。 ⇒後輪キャスターのロックを解除してください。	6

10. アフターサービス

●保証書

本製品には保証書を添付しております。

販売店名、購入日などが記入されている内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

本製品の保証期間はご購入の日から1年間です。

バッテリー等の消耗品、スリング(別売品)は保証の対象外です。

●修理

「故障かな?と思ったら」をご覧ください。

それでも異常があるときはすみやかにご使用を中止し、ご購入の販売店または弊社までご連絡ください。

【保証期間内】

修理の際に保証書をご提示ください。保証規定に従って修理いたします。

【保証期間が過ぎているとき】

修理できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

修理をご依頼される際に連絡していただきたい事項

- ・製品名、シリアルナンバー (リフト胴体部に記載)
- ・ご購入日 (保証書に記載されている年月日)
- ・故障または異常の内容 (どのように使用していたら、どうなったなど、できるだけ詳しく)
- ・施設名、お名前、ご住所、電話番号



※アフターサービスについてご不明な点はおご購入の販売店、または弊社までご連絡ください。

保証書

本製品は、当社の品質管理・検査のもとに皆様のお手元にお届けしておりますが、万一製品開封時に不良がございましたら保証規程に基づき無償修理いたします。その際は現品に本保証書を添えて弊社またはご購入の販売店までご提出ください。

品名	モーリフト パートナー255				
お客様	ご住所 〒	TEL			
	(フリガナ)				
	お名前				
ご購入年月日		西暦	年	月	日
販売店名					
保証期間	1年間				

- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- ご購入年月日、お客様の欄及び販売店名に記載のない場合は、無効となります。必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合は直ちに販売店にお申し出ください。
- この保証書は、本書および保証規程に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するもので、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 商品のご使用中に故障又は不具合が発生した場合、弊社もしくはご購入の販売店までご連絡ください。
- 保証期間が過ぎた後の故障等についてご不明な場合、弊社もしくはご購入の販売店までお問い合わせください。

保証規程

1. 保証期間はご購入年月日から1年間です。保証期間内に発生した故障については、無償修理いたします。
2. 保証の対象となる部分はこの商品一式です。ただし、各部の消耗・劣化による故障、損傷は除きます。
3. 無償修理には、保証書の提出を要します。
4. 次の場合には保証はできませんが、特にご希望の方には実費にて修理いたします。
 - (1) 保証書を紛失された場合
 - (2) 取扱説明書に記載されていない誤ったご使用方法、あるいは誤った修理・改造・分解による故障・損傷
 - (3) 火災、地震等の天災地変による故障・損傷
 - (4) ご購入後の輸送・移動・落下等による故障・損傷
5. ご相談窓口は、弊社営業所またはご購入の販売店にて承ります。
6. 保証書の保証対象とならない故障および損傷についても弊社の責任に帰する場合は、保証期間にかかわらず、無償修理いたします。
7. その他
 - (1) 保証書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
 - (2) 保証書の再発行はいたしません。
 - (3) 送料につきましては、保証期間内は弊社負担、保証期間外はお客様負担とさせていただきます(保証規程6.の場合を除く)。

●輸入・販売元

 **パシフィックサプライ株式会社**

本社 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1 TEL (072)875-8008 FAX (072) 875-8010

＜awamura アカデミー

Managed and Operated by Pacific Supply

好きな場所で好きな時に… いつでも閲覧可能なE-ラーニングシステム
Kawamuraアカデミーに、モーリフトカレッジが開講しています。モーリフトに
関する特徴や使用方法、使用例について講義（動画）を好きな時に好きな場所
で、ご自由にご視聴いただけます。

ご登録はモーリフト特設ページから…



● 輸入・販売元

 **パシフィックサプライ株式会社**

本社 〒574-0064 大阪府大東市御領1-12-1

TEL 072 (875) 8008 FAX 072 (875) 8010

<https://www.p-supply.co.jp/>

販売店